

福井城下寺社資料

松原 信之

はじめに

福井城下寺社資料としては、先に若越郷土研究⁷⁾の「一乗引越寺社」に於いてその概要を述べたが、今回は特に城下寺社の基本的資料として、今に残されている貞享二年及び正徳三年の「御城下絵図別記寺社」(松平文庫蔵)と安永初年「御城下寺社号誌」(文部省史料館蔵)の三点を整理分類して寺社の変動を中心に解説を試みて見た。

既に述べた如く前者二点はそれぞれ城下絵図作製の際、予め書き上げられたもので、各寺社の境内地の図面と共に御朱印地、地子地、町役地等の地種に至るまで記帳されている。又後者に就いてはその作成年代が不明であるが、寺社名や所在地から推考して安永初年のものと推定される。

まず宗派・寺社名・表向・所在地・地種等を貞享二年のものを基本にして正徳三年までに変更されている個所を「 」で改め、又、その後安永初年までの変更個所を

松原 福井城下寺社資料

()で改定した。更に山号・院号・本末 するものではないことを予め断つて置きた 以上いずれも断絶する運命にある寺社の 関係等は主として安永初年の「御城下寺社 派に並べ変えて集めてある。各寺院には解 基本的参考資料の単なる報告書として、こ 号誌」を基に「越前拾遺録」や「越前国名 派に並べ変えて集めてある。各寺院には解 此に紹介して後学の参考に資したいと念じ 蹟考」を参照して整理して見たが、この点 説を参照する際の便宜として整理番号を附 した。加した。

御城下絵図別記寺社 貞享2年〔正徳3年〕

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	表向	所在地	雑記	摘	要
1	万福山	彌陀光寺 莊嚴院		天台 真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
2	鎮護山	二尊寺	京	真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
3	富士山			真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
4	福聚山			真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
5	真教山	長心寺		真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
6	平岡山	結城寺		真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
7	五大山	明王寺		真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
8	松慶山	普観寺		真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
9	森蔵山			真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
10	天女山			真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
11	覚場山		京	真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
12	勝軍山			真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
13	伏楽山	玉蔵院 一乗院	京	真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
14	伏楽山	玉蔵院 一乗院	京	真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる
15	大谷山	教興院		真言	泉蔵院 養福院 東光寺	南表 西表	御郭内 " "	御社領御朱印 社領御朱印 寺領御朱印 〔正徳図別記には無し〕	○ ○ ○	神仏分離後 佐住枝廻社となる 神明神社となる

16				(東)一向	本臨寺	東表		F	御朱印	○
17			讀門徒	專照寺	"				御朱印	○
18	白菴山		禪	乘國寺	南表				御朱印	○
19	大丹山	宅良		心月寺	東表				御朱印	○
20	松雲院	慈眼寺末		(小松) 慈光寺	"				御朱印	○
21	松尾山	東寺末		持宝院	"				御朱印	○
22	松尾山	京	真言	光昭寺	南表				御朱印	○
23	法頂山	真尚	天台律	(西山) 妙園寺	東表				御朱印	○
24	松菴山	善光院	真尚	開東					御朱印	○
25	菴翔山	京	本國寺末	本妙寺	"	下呉服町後			御朱印	○
26	金剛山	致賀	永建寺末	宝泉寺	"				御朱印	○
27	結城山	永平寺末	"	(靈泉寺)	西表	志比口	D		御朱印	○
28	大慈山 (万葉山)	"	"	因昌寺	南表	寺			御朱印	○
29	仙桃山	"	"	安穩寺	東表	外中島			御朱印	○
30	万松山	"	"	金西寺	南表	[石場寺町]			御朱印	○
31	祥雲山	永春寺末	"	通安寺	北表	木田權町	D		御朱印	○
32		"	"	(慶宗相院)	南表	"	A		御朱印	○
33		"	"	慶林寺	北表	"	D		御朱印	○
34	茂光山 (大広山)	總持寺末	"	(場名なし)	西表	外中島			御朱印	○
35		孝願寺末	"	(寺名なし)	西表	[石場寺町]			御朱印	○
36		"	"	茂林院	外	外中島			御朱印	○
37	巖山	"	"	清光院	南表	"			御朱印	○
38	忍辱山	心月寺末	"	孝願寺下屋敷	東表	木田			御朱印	○
39	融峯山	"	"	泰清院	"	木田權町			御朱印	○
40	万松山		"	總持院	北表	下立屋町			御朱印	○
41	東光山 (万拍山)	宅良	"	竜洞院	東表	"	A		御朱印	○
42		慈眼寺末 宗福寺末	"	(寺名なし)	"	石場西願寺町 外中島			御朱印	○

松原 福井城下寺社調査

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	表向	所在地	雑記	摘要
43			鎮徳寺末	禪	久昌寺	東表	外中島		×
44	竜淵山		"	"	桂林寺	南表	南横町	B	戦災後廢絶
45			"	"	宗徳寺	東表	寺		"
46	(医王山)	安楽寺)	(持宝院末)	真言	天王	北表	木田中町		神仏分離後 木田神社となる
47			"	"	寂靜院	東表	石場上町		明治維新後廢絶
48	護国山		"	"	尊念院 (泉福院)	西表	外中島		×
49			三國 竜谷寺末	"	常福院	東表	石場上町		明治維新後廢絶
50	(如意山)	中合寺)	(黒竜 神宮寺支配)	"	宝塔院	西表	外中島		"
51	竜宮山	神宮寺	黒竜社 別当	"	宝珠院	東表	石場上町		"
52	妙雲山	(宗寿寺)	(持宝院支配)	"	地藏院	西表	外中島 (鍵町)		"
53	(真種山)	淨運寺)	普観寺兼帯	"	花心院	東表	御旗中町後 (神明中町)		"
54	(清香山)	王泉寺)		(山伏)	宝性院	"	石場清水町		"
55	一栗山	(宝龜山) 法蓮寺		"	普賢院	南表	神屋町 (鍵町)	B	○ 明治維新後廢絶
56	座王山	柳光院	預り寿福院	"	御嶽寺	"			
57	紫雲山	仏光寺 (如意輪山 願成寺)	(東叡山末)	天台	自性院	北表 (西表)	木田中町		○
58	慈照山	(観音堂)		"	普門院	南表	木田江町	境内悉摘屋屋鋪	明治維新後廢絶
59			平泉寺支配	"	玄成院 下屋鋪	北表	東三上町		"
60	光明山	律乘院		天台律	西光寺	西表	神宮寺中町		○
61				"	西念寺	北表	石場西念寺町		○
62	紫雲山			"	長運寺	南表	上三橋町		○
63			西山 光照寺末	"	西殿寺	"	西山下町		○
64			"	"	全竜寺	東表	妙園寺町		○ 明治維新後廢絶
65	正尚山	宝樹院	"	"	西方寺	北表	寺旗町		×
66			"	"	妙貞寺	北表	石場西源寺町		×
67			"	天台律	蓮台寺	南表	木田鍛冶町		×

68		西山	光福寺末 (山城 万福寺末)	天合律 比(山尼 黄兼禪)		宝蔵寺	東表	石場西源寺町		○	明治35年4月大火類焼後 同35年 月見町へ移る	同35
69	能念山	西松院		時宗		乘久寺 乘久寺下屋敷 安養寺 阿弥陀堂 (東雲寺) 法興寺	西表 北表 東表	室町ノ裏町 東三上町 石場新十郎町 木田赤坂		○	昭和10年10月 円山西村幾久江 移る	
70	相忍山		安養寺末	浄土						×		
71												
72												
73	禪国山		京栗生 (光明寺末) 禪林寺)			成實寺	東表	夷 町		○	戦災後 緑町へ移る	
74	玉旺山	禪生院								○	明治35年大火類焼後 移る	平岡山へ
75	西江山	金剛院				隆松寺		山 町		○		
76	日照山	淨光院	京			清円寺	西表	神明下町 外中島 (小田原町後) (与刃町)		○	戦災後 廃絶	
77	金蓮山	樹岑院				大仙寺						
78	撰取山	来迎院				一乗寺	南表	神明中町		○	昭和36年緑町へ移る	
79	光明山	清行院				真照寺		忘比 町		○	戦災後 廃絶	
80	蓮久山	行長院	京	日蓮宗		本経寺	北表			○		
81			京			本寿寺 (寺名在し)				○		
82	妙法山					善慶寺	南表	石場站海町		○		
83						妙経寺	西表	西念寺町		○		
84	羽入山		福井			真源寺	南表	木田東町		○		
85	愛栄山					正竜寺	北表	地藏寺町 (神宮寺町)		×		
86	谷知山	泰了院	京			願本寺 正法寺 (寺名在し)	西表 南表	石場纏之助町 寺		○		
87						妙法寺				×		
88	光蓮山							主水 町 (神明裏町)		○	昭和32年7月 湊新町へ移る	
89	禪聚山	善通院	京			本祐寺	北表	上三橋町		○		
90	覽源山	成源院				妙源寺	北表 西表	木田中町		○		

京原 興井鎮七寺社鎮座

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	表向	所在地	雑記	摘要
91	妙栄山	通玄院	京 本隆寺末	日蓮宗	本承寺	東表	牧野口		
92	松成山	隆善院	京 妙蓮寺末	"	妙成寺	北表	石場弥十郎町		
93	妙智山	心兜院	京 本禪寺末	"	成田寺 (教田寺)	東表	寺	D	
94	本覚山	本成院	京 妙蹟寺末	"	妙蹟寺	西表	木田		
95	石場山		"	"	妙蹟寺	東表	巖阪下		
96	一乘山		"	"	妙性寺	"	外中島 〔寺町〕		昭和10年11月 乾新町へ移る
97	勝運山	信受院	"	"	妙長寺	"	外中島		
98	福聚山	玄府院	京 妙覚寺末	"	教徳寺	北表	寺		
99	長寿山		"	"	妙永寺	南表	石場弥十郎町		
100	(妙覚山)	本照院	京 本国寺末	"	常樂寺 〔寺名なし〕	"	寺	D	戦災後 即本妙寺と併合して本 樂寺と改号
101				"		"		D	
102	(奉安山)	歙宮院	一身田 尊修寺末	高田	仙煙寺	"	中立屋町		
103	九頭竜山		中野 尊照寺末	識門徒	永照寺	北表	山奥町		戦災後 絶
104			"	"	浄願寺 (常)	東表	木田羽入町		明治40年2月 木田地方(現在 昭和和町)へ移る
105			豪撰寺末	"	善燻寺	南表	石場西念寺町		
106	牛鼻山			"	興宗寺	"	表御堂町	E	
107				"	興宗寺下屋敷	"	"	A	
108	和田山	本授院		"	本覚寺	"	"	D	戦災後 吉田郡上志比村東古市へ移 る
109	野生田山			"	千福寺	"	"	D	
110		正光院		"	照護寺	"	"	D	
111	隆向山			"	本向寺支坊	"	"	D	
112	昌向山			"	真宗寺	東表	下寺町	D	昭和57年1月 鯖江市鳥羽中へ移る
113				"	徳勝寺 (了勝寺)	南表	〔神明裏町〕	B	
114				"	光明寺	〔西表〕	土居原町	D	昭和16年 牧之島へ移る
115				"	勝樂寺	"	〔由原町〕	D	

116			(西) 一向	東表	土居原町 (田原町)	D	○	昭和31年7月 常盤木町へ移る
117			"	"	"	D	○	
118			"	"	"	A	○	
119			"	"	"	A	○	
120			"	西表	松本下町		○	昭和7年9月 昭和町へ移る
121	先乗山		"	南表	"		○	戰災後 牧之島へ移る
122			"	北表	松本南横町		○	
123			"	南表	木田東町	D	○	
124			"	"	石場猪之助町	C	○	
125			"	東表	勝 見	C	○	
126		京	"	南表	西山下町	A	○	明治35年大火類焼後 花月上町へ移る
127		常樂寺末 淨仏寺末 (西山 光照寺末)	"	北表	石場中町		×	
128		字坂 本向寺末	"	西表	廿三軒町	C	○	
129		生部 瑞応寺掛所	"	南表	石場祐海町	B	×	
130			"	東表	勝 見	A	×	
131			(東) 一向	西表	外中島		○	
132			"	南表	上三上町		○	
133			"	"	西山横町	B	○	
134			"	北表	夷(田原町)	B	○	明治35年大火類焼後 花月上町へ移る
135			"	"	(西) 子安町		○	明治14年12月 佐佳枝下町へ移る
136			"	"	下三橋町		○	
137			"	東表	石場燗屋町		○	
138	(印牧山)		"	南表	"		○	明治37年 日ノ出下町へ移る
139			"	西表	勝 見	D	○	

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	表向	所在地	雑記	摘要
140				(東)一向	正光寺 (正藏寺)	南表	木田新町	A	
141				"	教重寺 (受)	"	木田横町		
142				"	称念寺	西表	"	D	
143				"	浄得寺	東表	木田堀小路町	D	
144				"	徳願寺	西表	"	B	
145			野寺	(野寺)	本証寺	南表	勝見		4代光通の頃より殿下円明寺兼帯となり戦災後全く円明寺へ併合する

山上之寺社境地難図分

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	表向	所在地	雑記	摘要
					瑞源寺				
					松玄院				
					慶岩山松玄院				
					遊樂寺				
					羽明山寿命院				
					神宮寺				
					足羽大明神				
					神主 牧田治郎				
					黒竜大明神				
					宝珠院				
					前に寺院の敷に入				
					稲荷				
					山伏 竜正院				
					虚空藏				
					虚空藏				
					喜見坊				
					天神				
					観音				
					波著寺				
					観音				
					山伏 頼寿院				
					稲荷				
					松尾寺				
					妙藏寺				
					七面明神				
					前に寺院の敷に入				

(注記)

- ① 雑記欄
- A 境内悉地子地
 - B 境内悉町役地
 - C 境内悉地子地並びに町役地
 - D 境内に地子地あり
 - E 境内に町役地あり
 - F 境内に町役地並びに地子地あり
- ② 摘要欄
- 現存する寺院
 - × 明治以前に廃絶又は退転せる寺院
- ∴ 尚、明治以後創設或いは市外より移転せる寺院は、この表より除外した。又、東別院、西別院の塔頭寺院は、一部を除いて記載されていない。

福井城下寺社号誌 (残部)

整理番号	山号	院号	本末	宗派	寺院名	所在地	摘要
146				西一向	淨院寺	表御堂境内	
147				"	善覺寺	"	
148			中野 尊照寺末	三門徒宗	教覺寺	木田町(尊照寺内)	
149			" 正寺末	" 宗	普提寺	"	
150			本體寺末	淨土宗	蓮照寺	地蔵町	享保18年(1733) 南条郡奥野々別所村より移る
151			本興寺末	法華宗	帝休院寺	上之橋一番町	元文4年(1739) 松岡より移転
152	小谷山		泰遠寺末	"	宗泰寺	石場寺町	元文5年(1740) 松岡より移転
153			京 妙頭寺末	"	遠成寺	木田町	寛保元年(1741) "
154			京 妙心寺末	宗 尊照寺末	光行寺	"	"
155			京 尊照寺末	三門徒宗	信行寺	石場寺町	"
156			中野 上行寺末	法華宗			
157							

貞享二年より正徳四年までの変動

一、貞享記に「寺領御朱印」とあつて正徳記にその記載の無いものに(3)東光寺と(14)清源寺とがある。

◎清源寺は慶長年間一乗谷より北庄へ移転した寺院である。寛文十三年(一六七三)九月、四代光通により永寿院菩提として吉田郡経田村の内高式拾石寄附されたが、貞享三年大法後没収されている。

◎東光寺は寛永元年(一六二四)三代忠昌の越前転封と共に高田より引越した

松原 福井城下寺社資料

寺院である。寺院書上に「寺領五拾石 甘人扶持御寄附」とあるが、これも清源寺同様、貞享大法後没収されたものと見られる。

二、寺院の廃絶 寺院の増加は一ヶ寺も見られないが減少は(81)本寿寺、(87)正法寺、(101)善行寺の三ヶ寺が知られる。これらはいずれも法華宗寺院で橋南石場寺町に在った。元禄七年(一六九四)住職不儀露顕して寺断絶、寺地没収となった。

元禄七年十一月十一日〔御用留 抜集(一)〕

(一)、法花宗石場寺町本寿寺・善行寺・正

法寺右三ヶ寺住持不儀露顕之様子ニ付 一宗へ申渡尋被申付候処行処不相知候、此段七月十日ニ御留有之、右之趣 江戸へ申上候処最早詮儀ニ不及候、先年正法寺先住御仕置ニ被仰付候節、重而不儀之僧於有之ハ寺地御差上可成旨 申渡置候、其趣ニ今度三ヶ寺之寺地御 差上ケ可成間其段取扱候様、江戸方申 来、其渥美新右エ門へ被仰付候事

三、寺院移転(28)金西寺、(33)寛天寺、(96)妙

性寺、(53)花応院、(77)大仏寺、(113)徳勝寺の六ヶ寺が見られる。

◎金西寺、寛天寺、妙性寺は前記の寺、断絶後その跡地へ移転せしめられたものである。

元禄八年二月十六日〔御用留抜集

(一)

石場寺町三ヶ寺之地所御取上候処へ左之通替被下、

正法寺寺地寺共ニ 外中島禪宗 金西寺

本寿寺 右同断 同処同宗 寛天寺

善行寺 右同断 同処法華宗 妙性寺

鐘撞堂共ニ

右替被下中島之寺地寺共ニ御取上關所ニ相成ル

◎花応院(御旗町↓神明中町後)、大仙寺(外中島↓小田原町後)、徳勝寺(下寺町↓神明裏町)の三ヶ寺は移転年代不明であるが、貞享三年の大法後取り払われた待屋敷跡に寺地を求めて移転したものであろう。

◎(12)八幡別当壽院正顯寺は町名による移動は見られないが、宝永五年(一七〇八)神社火災に罹りたるため、七代吉

品より御舟町(現地)に社地五百四拾余坪寄進されて移転している。

◎(140)正光寺も町名に移動はないが、貞享三年(一六八六)に木田淡原町より、木田新町へ移つている。(当寺記録、城下絵図より)

◎(141)木田横町教重寺も貞享、正徳間に山奥町筋に寺基を移転し、旧寺地はそのまま当寺持分としている。(正徳三年城下絵図より)

四、寺名改号

◎(9)浄光院↓蓮正寺||宝永六年(一七〇九)二月四日改号。

宝永六年二月四日〔御用留抜集(一)〕
浄光院事公方様御他界ニ付(代綱吉)宝永六年一月)御台様御院号浄光院と被為附候ニ付己来蓮正寺と寺号唱候様被仰出候事

正徳四年より安永年間までの変動

一、寺院転入||享保六年(一七二一)福井藩主松平吉邦死去後、松岡藩主昌平(代福井藩主となつて松岡館を始め、松岡藩士をすべて福井へ引揚げさせた。こ

れと同時に藩士菩提寺としての(152)常休院、(153)宗円寺、(154)泰遠寺、(155)縁成寺も福井へ引越している。その他引越し寺院としては次の三ヶ寺がある。

◎(157)信行寺は正徳四年(一七一四)足羽郡若杉村より移転す。

◎(85)正竜寺寺地は享保十八年(一七三三)(151)蓮照寺へ売渡し)、別表参照)

正竜寺寺号は本寺の神宮寺妙経寺預りとなつた。

◎(156)専光寺は延享三年(一七四六)足羽郡河北村より移転す。

〔注記〕貞享・正徳別記には寺名が見えていないが、従来より(146)浄善寺・(147)円覚寺は西御堂寺内に、又(148)教覚寺

・(149)菩提寺も中野本山専照寺の寺内にあつたものである。

又(150)森厳寺は宝永五年(一七〇八)既に寺号免許となつているが、城下外であつたためか「正徳別記」には寺名が見えていない。

「中納言様(秀康)御葬所故元禄十

一年運正寺より被_二相願_一小庵を建立仕、翌年觀音堂建立、宝永五年運正寺より被_二相願_一寺号御免、享保五年より年々十俵づつ被_二下置_一候云々」(寺院書上)

二、寺号移転||藩政中期以降、特に真宗以外の寺院においては檀徒の減少によつて小末寺で廃絶するものが多くなり、寺号のみが本寺預かりとなつていた。一方幕府の寺院政策は新寺の建立をゆるさなかつたので、苦肉の策として新しく創立された道場や庵室はこれ等浮寺号を買得して寺社奉行より認可された寺院として創立する方法をとつた。従つて各寺院由緒書に寺院の移転とあつても、ただ単に寺号の移転のみを意味し、旧寺との法脈・血脈は皆無の場合が多いのである。

◎(33)寛天寺は先記した如く元禄八年外中島より石場寺町へ移つているが更に享保初年南条郡鯖波村へ移転している。(寺号移転か)

◎(39)竜洞院
寛保三年(一七四三)十二月十一日〔御用留抜書(三)〕

一、心月寺持分之末竜洞院と申寺号、湯

尾村(南条郡)智明と申僧、右寺号望候ニ付讓申度旨、願之通岩上梶太夫へ申渡之。

◎陽林寺

宝曆十年(一七六〇)四月廿九日〔御用留抜書(四)〕

一、永春寺末寺陽林寺と申浮寺号、今庄村(南条郡)慈現庵へ貰受候儀願之通被仰付候事…

◎(68)宝蔵寺は天台律宗より黄檗・禪宗と宗派がかわつてゐるが、明和七年(一七七〇)西山光照寺持分の浮寺号宝蔵寺を買得して、開基周法和尚、久保町の商家大黒屋片山平三郎大檀那として、黄檗宗寺院を創建したものである。

明和七年六月廿五日〔御用留抜書(五)〕

一、西山光照寺末寺宝蔵寺寺号并寺院共ニ黄檗宗秀峰と申僧へ相讓度旨、兩本山相障儀無之旨ニ相願双方願之通被仰付候。

◎(127)円流寺(浄仏寺末↓西山光照寺末)
安永元年(一七七二)五月十一日〔御用留抜再編〕

一、西山町浄仏寺持分神宮寺町円流寺と申浮寺号并寺地共ニ同町光照寺へ相讓度旨、光照寺儀も請申度旨、尤兩寺共ニ本山へも相達候処、相障儀無之旨ニ付相願候、依之願之通被仰付候、其段兩寺へ可被申上事。

◎(130)徳上寺↓現在坂井郡女形谷へ移転している。

三、寺院移転|| (17)專照寺、(5)医王院、(35)清光院の三ヶ寺は町名からは寺移転が知られないが、それぞれ城下内で寺地移転が行われている。

◎(17)專照寺―享保九年(一七二四)堀小路より現地へ移転。

◎(5)天王別当医王院―享保十七年(一七三二)郭内天王町より志比口へ移転。

◎(35)清光院―木田觀音町の(36)孝顯寺下屋敷(孝顯寺十三世易室和尚隱居所)と外中島清光院とを合併して御舟町に移転したものと見られる。(拾遺録・城下絵図)その後文化八年(一八一二)木田赤坂に再移転。

◎(52)地藏院(宗寿寺)―各城下絵図より

推定して享保末年頃(56)御嶽寺へ移転併合したものと考えられる。

◎(134)願乗寺(夷町↓田原町)―明和三年(一七六六)三月大火類焼後、同年六月に移転。

◎尚(53)花心院(神明中町後↓与力町)、

(77)大仙寺(小田原町後↓与力町)、(114)

光明寺、(115)勝楽寺、(116)正善寺、(117)法円

寺、(118)願照寺、(119)宗源寺(土居原町↓

田原町)と町名に変更が見られるが、これは寺院が移動したのではなく町名改号によるものである。

四、寺号改号この期間、寺名の改号が多く見られる。これは宝永六年の運正寺改号の場合と同様、藩主松平家内の逝去による院号などの同音、同字に差障わりのため改号を仰付けられているものが多い。ここには城下内の寺院のみを示例したが、城下外の寺院にもこの例が多い。当時の領主の権力の一端が知られるであろう。

◎(93)成円寺(↓教円寺)―享保三年(一

七一八)六月国主松平家に於いて(?)寺号文字差障りの趣によつて改号(当寺記録)

◎(25)宝泉寺(↓靈泉寺)―享保六年代藩主宗昌逝去、法名豊仙院、享保九年(一七二四)改号

◎(72)阿弥陀寺(↓東雲寺)―享保末年改号(拾遺録に「当寺古昔寺前村に在り」とある。恐らく浮寺号を買得したものか?)

◎(113)徳勝寺(↓了勝寺)―寛延二年代藩主宗矩逝去、法名徳正院、翌年(一七五〇)改号

◎(128)教重寺(↓教住寺)―領主越前守殿諱重昌依之改而宝曆五年七月依願為

教住寺(当寺記録)―天保十二年(一八四一)再び教重寺と改号。

◎(141)教重寺(↓教受寺)―右と同様か。

◎(140)正光寺(↓正蔵寺)―寛保三年(一七四三)代藩主宗矩の御内室勝姫24才

卒去、法名照光院、宝曆十年(一七六〇)改名仰付けらる。

◎(118)玄照寺(↓願照寺)―宝曆八年(一七五八)代藩主重昌逝去、法名源隆

院、玄・源同音のため改号。

◎(114)誓行寺(↓清行寺)

◎(122)正徳寺(↓正満寺)

安永年間より明治維新までの変動一、寺院の退転

◎(48)専明院―寛延元年(一七四八)丹生郡殿下村国山(現在福井市)へ移転(寺号移転か)。現在の愛染寺である。

◎(47)恵雲寺―安永五年(一七七六)、三国へ寺号移転。

◎(43)久昌寺―文化年中(一八〇四)、三国へ寺号移転。

◎(127)円流寺―文政八年(一八二五)坂井郡長橋村の石橋浄光寺道場へ寺号移転。

◎(65)西方寺、(66)妙貞寺、(84)真源寺の三ヶ

寺は幕末の頃、殆んど廢寺同様となり、寺地・寺号のみが残る。

二、寺院移転

◎(104) 淨願寺―天明年度(一七八一) 專照寺境内へ移転。

◎(135) 慶福寺―寛政六年(一七九四) 花月上町へ移転。

◎(131) 西念寺―享和元年類焼後、同三年(一八〇三) 現地へ移転。

◎(146) 淨善寺―天保五年(一八三四) 西別院境内より現地へ移転。

三、寺名改号

◎(94) 妙藏寺(↓本法寺)―天保八年類焼、弘化三年七月初旬再建着手、同十八日暴風にて倒壊、このため同年(一八四六) 本法寺と改号。